

著作リスト

大学出版物：

地域社会研究

- ・「ドイツにおける『農村地域』の現状と課題」、地域社会研究第1号所収 (P16~25)、1999年3月
- ・「連続シンポジウム『学校と地域社会』を開催して」、地域社会研究第2号所収 (P28~32)、2000年3月
- ・座談会「地域社会研究センター発足の背景と今後の展望」共著、地域社会研究第4号所収 (P1~9)、2001年3月
- ・「別府の新しい風—『学生とまちづくり』シンポジウム報告」、地域社会研究第5号所収 (P1~9)、2001年9月
- ・座談会「地域の物語」共著、地域社会研究第6号所収 (P1~5)、2002年3月
- ・「住んで楽しい別府市中心市街地」編著、地域社会研究第7号所収 (P1~9)、2003年3月
- ・「第4回『学生とまちづくりシンポ—高齢者の理想郷・南地区—』」編著、地域社会研究第9号所収 (P10~18)、2004年3月
- ・「ドイツの新しい市民参加『プラーヌクスツェレ』」、地域社会研究第11号所収 (P2~11)、2005年9月
- ・「『日本プラーヌクスツェレ研究会』の設立とその活動」、地域社会研究第11号所収 (P18~20)、2005年9月
- ・「プラーヌクスツェレから見た『市民討議会』の意義」、地域社会研究第11号所収 (P22~31)、2005年9月
- ・「プラーヌクスツェレ調査—ドイツ視察報告」、地域社会研究第12号所収 (P8~13)、2006年8月
- ・「第2回日本プラーヌクスツェレ研究会 報告」、地域社会研究第12号所収 (P14~18)、2006年8月
- ・「新しい市民参加と討議デモクラシーとの連関」、地域社会研究第13号所収 (P12~17)、2006年12月
- ・「第3回日本プラーヌクスツェレ研究会開催」、地域社会研究第13号所収 (P30) 2006年12月
- ・「第4回日本プラーヌクスツェレ研究会 報告」、地域社会研究第14号所収 (P1~4)、2007年7月
- ・「日本プラーヌクスツェレ研究会と拡がる『市民討議会』」、地域社会研究第15号所収 (P1~5)、2008年10月
- ・「プラーヌクスツェレに関するベルリン国際会議の報告」、地域社会研究第16号所収 (P1~10)、2009年3月
- ・「市民討議会の現状とカイゼン」、地域社会研究第17号所収 (P1~3)、2009年10月
- ・「日本初の『討論型世論調査』—その実施概要と意義—」、地域社会研究第18号所収 (P12~16)、2010年3月
- ・「関西のNPOとの対話」、地域社会研究第18号所収 (P23~26)、2010年3月
- ・「市民討議会の質保証—調査研究の意義と方向性—」、地域社会研究第20号所収 (P5~9)、2011年3月
- ・「第5回プラーヌクスツェレ・推進者ネットワーク国際会議とベルリン工科大学における公開講義の報告」、地域社会研究第21号所収 (P1~5)、2012年3月
- ・「変形型プラーヌクスツェレの実践」、地域社会研究第22号所収 (P18~21)、2013年3月
- ・「市民討議会の質保証の基準とシステム」、地域社会研究第22号所収 (P28~39)、2013年3月
- ・「ネッド・クロスビーと市民陪審」、地域社会研究第23号所収 (P1~10)、2013年12月

- ・「福島県いわき市視察と第7回市民討議会・見本市」、地域社会研究第24号所収（P9～13）、2014年10月
- ・「第8回市民討議会・見本市」、地域社会研究第25号所収（P22～26）、2015年8月
- ・「日田市天瀬町で考える『地方創生』」、地域社会研究第27号所収（P1～8）、2016年10月
- ・「ドイツの自治体における市民参加の進展」、地域社会研究第27号所収（P34～36）、2016年10月
- ・「別府大学とこれからの社会」、地域社会研究第28号所収（P1～5）、2017年3月
- ・「社会変化と大学教育の矛盾——一人ひとりの未来に寄り添う教育を——」、地域社会研究第29号所収（P1～9）、2018年3月
- ・「民主主義の新しい潮流」、地域社会研究第30号所収（P9～19）、2019年3月
- ・「地域社会と青年教育」、地域社会研究第30号所収（P28～32）、2019年3月
- ・「マンチェスター会議 報告—第3回デモクラシー R&D 国際会議—」、地域社会研究第31号所収（P1～6）、2020年3月
- ・「民主主義の新しい潮流（2）」、地域社会研究第31号所収（P6～11）、2020年3月
- ・「繰り返し実施される市民討議会」、地域社会研究第32号所収（P1）、別府大学地域社会研究センター、2021年3月
- ・「市民討議会における職員・議員参加の効果と可能性—愛媛県伊予市の事例—」、地域社会研究第32号所収（P10～13）、別府大学地域社会研究センター、2021年3月
- ・「『別府“温泉”大学』とは?」、地域社会研究第33号所収（P1）、別府大学地域社会研究センター、2021年3月

別府大学短期大学部紀要

- ・「ドイツの後進的農村地域活性化政策に関する一考察」、別府大学短期大学部紀要第18号所収（P51～62）、1999年2月
- ・「プラーヌクスツェレのメルクマールとその評価」、別府大学短期大学部紀要第19号所収（P27～35）、2000年2月

別府大学紀要

- ・「ドイツの市町村におけるプラーヌクスツェレの実施—メアブッシュ市（都市開発）とノイス市（中心市街地）の事例—」、別府大学紀要第43号所収（P53～78）、2001年

大学外出版物：

論文

- ・「プラーヌクスツェレと市民討議会」、計画行政第33巻第3号（P9～14）、日本計画行政学会、2010年
- ・「無作為抽出型市民討議会の進展」、都市計画286号所収（P51～54）、2010年
- ・「広がる“市民討議会”——国民主権の実現に向けて——」、婦人の友第104巻・第5号所収（P78～81）、婦人の友社、2010年
- ・「新しい市民参加と討議デモクラシー」、とうきょうの自治Autonomy・Tokyo所収（P2～8）、2011年
- ・「市民の『公共形成権』と市民討議の意義」、地域開発574号所収（P2～5）、日本地域開発センター、2012年
- ・「社会変化と大学教育の矛盾」、大学評価学会年報第14号「現代社会と大学評価」（P1～18）、晃洋書房、2019年

著書

- ・「Die Befreiung der Politik」(Peter・C・Dienel 編) 共著、「Die PZ in Japan」(P125~127) 執筆、VS Verlag fuer Sozialwissenschaften、2005年
- ・「まちづくりと新しい市民参加-ドイツのプラヌンクスツェレの手法」単著、イマジン出版、2006年
- ・「格差社会と地方自治」(日本地方自治学会編) 共著、「ドイツの市民参加の方法『プラヌンクスツェレ』と日本での展開-ドイツ・メッケンハイム市の事例と日本の『市民討議会』-」(P117~148) 執筆、敬文堂、2008年
- ・「自治を拓く市民討議会-広がる参画・事例と方法-」共著、第2章「住民自治を拓く市民討議会」(P28~56)、第4章「ディーネル博士のメッセージと解説」(P92~109) 執筆、イマジン出版、2009年
- ・「サステイナブル社会の構築と政策情報学 環境情報の視点から」(中道寿一、中上健一編) 共著、第2章「政策形成における『市民討議』の意義と展望-プラヌンクスツェレを中心として-」(P34~54) 執筆、福村出版、2011年
- ・「第19回 新しい市民参加の手法-市民討議会」単著、財団法人・河川環境管理財団、2011年
- ・「討議デモクラシーの挑戦 ミニ・パブリックスが拓く新しい政治」(篠原一編) 共著、第3章「計画細胞会議-メンバーを変えながらの少人数討議」(P61~80)、第5章「市民討議会-日本の政治文化を拓く」(P99~115) 執筆、岩波書店、2012年
- ・「不安社会を変える」共著、第3章「討議デモクラシーが拓く新しい社会」(P131~192) 担当、かもがわ出版、2013年
- ・「Die Qualitaet von Buergerbeteiligungsverfahren」共著、「Deliberatives Buergerforum in Japan : Ein Kompaktmodell?」執筆、Franz Steiner Verlag、2014年
- ・「話し合い研究の多様性を考える」(村田和代編) 共著、第9章「プラヌンクスツェレの『話し合い』と『公共形成権』への展望」(P151~168) 執筆、ひつじ書房、2018年

訳書

- ・「市民討議による民主主義の再生 プラヌンクスツェレの特徴・機能・展望」、ペーター・C・ディーネル著、篠藤明德訳、イマジン出版、2012年

編集後記に代えて

私は恵まれて、多くの本、論文、記事を書くことができましたが、この著作リストを見て分かるように、その主な舞台は「地域社会研究」でした。初代・地域社会研究センター所長の秋田清先生が「一般の人が読んで分かる雑誌にしよう」と言われ、創刊されたものです。私は創立メンバーとして、また、2代目所長として「地域社会研究」を細々でも良いからと思い、発刊し続けてきました。23年間、合計34号です。

読者の皆様、長い間ありがとうございました。本号のエッセイについてのご意見、ご感想を下記のメール・アドレスまで是非お寄せください。楽しみにしています。

akishino@ctb.ne.jp